

ひょうご女性の活躍推進事業【兵庫県】

地域の実情と課題

本県では、男女共同参画社会の実現を目指し、平成14年に策定した「男女共同参画社会づくり条例」や、県男女共同参画計画に基づき、これまで県立男女共同参画センターを拠点施設として様々な取組を進めてきた。その結果、成果は着実に現れつつあるものの、県女性就業率(H27)は45.2%(全国第45位)と低いほか、各分野の指導的地位に占める女性の割合も低い水準に止まっており、女性の活躍については十分とは言えない状況である。

事業の特徴

本県における「女性の活躍」を一層促進していくため、様々な分野で活躍する女性や経済・労働団体等と連携・協働し、「ひょうご女性の活躍推進会議」を設置し、同会議を中心に女性の活躍に向けた取組を展開することにより、社会全体の気運醸成を図るとともに、職場等における取組を促進する。

事業の効果

経済、労働、報道、行政等各種団体と連携し一体的に事業実施することにより、事業を効率的・効果的に実施し、女性の活躍に関し広く企業や県民に対する啓発を推進することができる。

なお、「女性の活躍推進」に関する数値目標は、第3次兵庫県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2020」に10項目掲げており、計画期間(平成28～32年度)における達成を目指すこととしている。

目的・目標

人口減少社会の本格化を迎え、社会の活力を維持するためにも「女性の活躍」が不可欠であることから、様々な分野で活躍する女性や経済・労働団体等で構成する「ひょうご女性の活躍推進会議」を中心に、女性の活躍に向けた社会全体の気運の醸成を図るとともに、男性管理職等をはじめとした職場における意識改革や働きやすい職場づくり等の環境整備、女性自身の意識改革や能力開発等、幅広く取組を展開する。

連携団体

「ひょうご女性の活躍推進会議」会議構成メンバー
知事、学識者、企業等で活躍する女性、県経営者協会会長、連合兵庫会長、県商工会議所連合会会頭、県商工会連合会会長、神戸経済同友会代表幹事、兵庫労働局長、兵庫県市長会会長、兵庫県町村会会長、神戸新聞社代表取締役社長

今後の課題

本県で大多数を占める中小企業において女性の活躍が推進されるよう、働きかけに注力する必要がある。また、若年層の女性に対しキャリアデザインの意識形成を支援することにより、将来の女性活躍の担い手として育成することが必要である。

これらの課題について、効果的に取り組むため、「ひょうご女性の活躍推進会議」構成メンバーと有機的に連携し、協働の取組を推進する。

ひょうご女性の活躍推進会議

〔趣旨〕

本県における「女性の活躍」を一層推進するため、様々な分野で活躍する女性や経済・労働団体等で構成する「ひょうご女性の活躍推進会議」を発足し、構成員の連携・協働のもと、社会全体の気運醸成を図るとともに、職場等における意識改革や女性登用の促進等、女性の活躍に向けた様々な取組を展開する。

【発足】 平成27年7月7日

【メンバー構成】

様々な分野の代表者等により構成

〔構成員の分野・区分〕

- 各界で活躍する女性等
- 経済労働分野 ■ 報道関係
- 行政

【運営等】

- ◇ 推進会議の設置・運営
- ◇ 連絡会の設置・運営

〔連絡会〕

推進会議構成団体の実務担当者で構成する推進会議に係る具体的協議・運営等を行う機関。

【主な協議内容等】

- ・行動宣言を踏まえた目標等の進捗管理
- ・各種事業の具体的実施・運営方法 等

各構成団体をはじめとした県内企業並びに女性社員等への支援を展開

既存の事業等も活用し、パッケージとして事業展開

各企業での取組みを後押しするため、女性活躍推進専門員を派遣

職場における意識改革

- ひょうご女性の活躍企業表彰の実施
 - 県内企業の先進事業の情報発信
 - 企業への出前相談及び研修講師派遣
 - 企業担当者向け研修会の開催
- 等々

女性自身の能力開発・意識改革

- 育休復帰応援セミナーの開催
 - 女性ロールモデル等の情報発信
 - 企業への出前相談及び研修講師派遣
 - 女性のためのステップ・アップセミナーの開催
 - 「小1の壁」克服術セミナーの開催
- 等々